

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	一般常識・時事問題 1	
科目基礎情報					
開設学科	情報ビジネス科	コース名	コース共通	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位	開講時間	火曜 3、4時限目	授業形態	講義
教科書/教材	必要に応じて資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	風間 恵		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
企業の就職試験の一般常識は社会常識が幅広く出題される。社会常識を持っている人というのは、これまで学習してきた学びがきちんと備わっていて、そのうえ社会人として最低限の知識やマナーが身についている人のことをいう。まさに企業はこのような人材を求めており、これから社会人になる就活生には必須のスキルともいえる。授業では、社会常識問題を解きながら、社会情勢における時事問題を取り上げ、理解を深める。					
到達目標					
社会人としての必要な一般上常識の知識を理解する。					
教育方法等					
授業概要	■国語、数学、理科、社会、英語の主要五科目の問題を多く解きながら理解を深める。 ■今の社会で起こっている時事問題を取り上げ、理解を深める。				
注意点	この授業では一般常識といわれる国語、数学、理科、社会、英語の主要五科目の問題を多く解く。また、今の社会で起きている時事問題を取り上げ、理解を深める。 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により内容が前後する場合もある。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	0%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回） 1回（ 2 ）時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	国語（1）		漢字の書き取り、漢字の読み、間違えやすい漢字を理解する		
2回	国語（2）		漢字の書き取り、漢字の読み、間違えやすい漢字を理解する		
3回	国語（3）		四字熟語を理解する		
4回	時事問題（1）		その時のニュースより出題を理解する		
5回	数学（1）		式の計算を理解する		
6回	数学（2）		因数分解を理解する		
7回	数学（3）		図形を理解する		
8回	時事問題（2）		その時のニュースより出題を理解する		
9回	歴史（1）		日本の歴史を理解する		
10回	歴史（2）		世界の歴史を理解する		
11回	歴史（3）		世界遺産を理解する		
12回	英語（1）		英単語を理解する		
13回	英語（2）		英熟語を理解する		
14回	理科（1）		地学を理解する		
15回	理科（2）		化学を理解する		